

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

太成学院大学 実施報告書



実施主体 太成学院大学 山本ゼミ

実施内容 オープンキャンパスにて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業等で児童虐待に関心を持った学生がゼミに集まり、児童虐待等への理解を深めた。児童虐待の種類や統計、しつけとの違いなどを調べ、まとめた。

オレンジリボン運動や児童虐待に関するポスターを作り、大学内に展示した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オープンキャンパスでは、来学された高校生や保護者に対し、児童虐待防止についての説明とオレンジリボン運動に向けたゼミでの取り組みなどを紹介し、啓発を行った。

手作りオレンジリボンと独自に作成したオレンジリボン運動に関するチラシ、オレンジリボン運動の公式グッズ等の配布を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

児童虐待等を学び、理解を深めていく中で、将来子どもと関わる職につきたいと考えている私たちにとって必要な情報であったし、私たち以外にも伝え知ってもらうことで児童虐待への理解や協力が増していくことに繋がると思った。さらに、どのように子ども達に関わり、子どもやその保護者を援助していくかなどについて考える機会となった。

啓発活動を行うことで、児童虐待やオレンジリボン運動のことを多くの人に知ってもらうことができて、とてもやりがいを感じる事ができた。

また、ガイダンス後「オレンジリボン運動に興味を持った」と言っていたいたり、実際にオレンジリボンを付けて帰ってくださった方がいたりして、達成感も味わうことができた。

これからもオープンキャンパスでオレンジリボン運動を行っていきたい。

さらに、今後は大学祭や様々な催しでの活動の幅を広げていきたい。そして、同じゼミの後輩に活動をつないでいきたい。

